

# 日本共産党は8議席を獲得

## 前回比1議席減・民主は大敗

16日に行なわれた衆議院選挙で、日本共産党は議席倍増めざして奮闘しましたが、残念ながら、改選9議席から8議席への後退となりました。ご支援いただきましたみなさんに、おわびを申し上げますとともに、心からお礼を申し上げます。

自民党が大勝しましたが、前回大敗したときよりも票を減らしたにもかかわらず、民主党の失政への国民の怒りが大きく、小選挙区制の仕組みによることもあってこのような結果になりました。けっして自民党の政策が認められたものではなく、民主党が変質し、「自民党型政治」に戻ってしまったことが原因であり、本家自民党がこれから進める「自民党型政治」は、国民との矛盾をより一層大きくしていくでしょう。

日本共産党が訴える「アメリカいいなり・財界中心の自民党型政治を転換し、国民が主人公の政治をつくる」ことは、必ず国民の支持を得られるものと確信しています。そのためにも日本共産党は、国民のみなさんの要求実現のため共に活動し、これからも全力で取り組んでいく決意です。

塩川鉄也衆院議員



日本共産党 沼田北部支部・西部支部・薄根支部  
沼田市議会議員 井之川博幸

## 日本共産党 塩川鉄也氏のあいさつ

北関東比例ブロックで5選を果たすことができました。ご支援いただいたみなさんに心からの敬意を表します。

消費税増税中止、即時原発ゼロ、TPP反対など、掲げた公約実現に取り組めます。なによりも被災者支援に全力を挙げる決意です。

選挙結果は、国民を裏切った民主党にノーの審判を下したものです。政治を変えたいという有権者の模索は続いています。自民党、維新の会による憲法改悪などの反動的逆流は、アメリカいいなり、財界中心という二つのゆがみをいっそう深めるだけであり、未来はありません。「憲法九条まもれ」をはじめとした国民的な要求運動と力をあわせて、古い自民党型政治と正面から対決します。

来年は参院選です。ぜひ勝利を勝ちとりたい。引き続きご支援をお願いします。

## 12月市議会情報 井之川博幸市議の一般質問報告 (仮称) 歴史民俗資料館の整備を要求



井之川博幸市議

井之川博幸議員は、本市の魅力を高めるために、拠点整備の一つとして、(仮称)歴史民俗資料館の整備を求めました。

教育長は、「歴史民俗資料館は、歴史文化の拠点として重要な施設であると認識しておりますが、本市の財政事情を考えますと、現時点で歴史民俗資料館を新設することは、困難な状況であると考えております。また、現在、移築保存整備に取り組んでいる県指定重要文化財『旧沼田貯蓄銀行』の移築後の利活用においても、歴史民俗資料等の企画展示等についても、関係機関のご意見を伺いながら関係部課と協議検討してまいりたい」と答えました。

## 中小企業を支援する「中小企業憲章」の制定を

井之川博幸議員は、国・県でも制定済の「中小企業憲章」と、その精神を生かした地域循環経済を取り入れた市内産業の実態に即した(仮称)中小企業産業振興条例の策定を求めました。

市長は、「国・県の中小企業憲章に基づく新たな施策に留意しつつ、地域経済の活性化を図ってまいりたい」と答え、独自の憲章制定は否定しました。また、「本市では、昭和55年3月に『沼田市中心企業振興条例』を制定し、具体的な施策につきましては、『沼田市中心企業振興条例施行規則』に規定し、対応してまいりました。議員からご提案のあった『地域循環経済』は、本市の特産品などをはじめ、市内企業が製造する各種製品が地域内で活用、消費されることによって生産活動が活発化し、雇用や所得の増大につながるものと認識しております。本市においても、条例の整備について研究してまいりたい」と答えました。

井之川議員は、国の基本法も改定されたことを示し、古い条例のままではなく、地域経済の実態に合わせた「新条例」制定を求めました。



2012年12月23日 No.639

### いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料